

平成23年(2011年)12月4日 (日曜日)

小中学生100人 バスケットで交流

伊豆

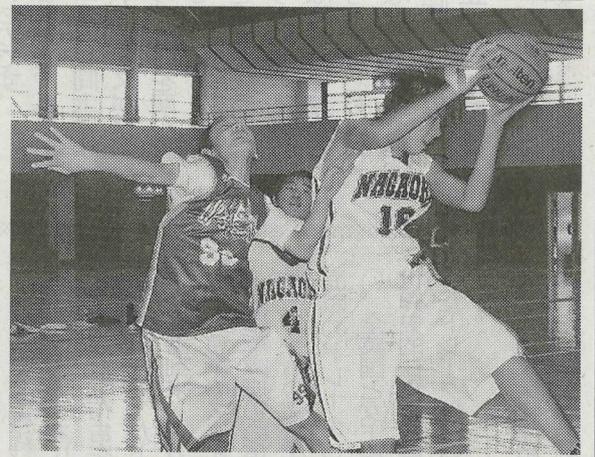
三島田方と福島・いわき市

NPO法人グラウンド
ワーク三島の東日本大震
災支援活動で訪れている
福島県いわき市の小中
生が3日、伊豆市の修善
寺体育館などで、三島田
方地区にある小中学校5
校の児童生徒とバスケッ
トボールで交流した。

「心を元気にするショ
ートツアー」と名付けら
れた同活動は9回目。今
回は、いわき市立植田東
中男子バスケット部の14
人、植田小ミニバスケッ
トチームの22人と保護者

11人の計47人が参加し
た。伊豆市バスケット連盟
(遠上文夫会長)の協力
で、伊豆市立修善寺中、
伊豆の国市立長岡中、三
島市立北中の男子バスケ
ット部員と伊豆市立修善
寺小、伊豆の国市立韮山
小の男女ミニバスケット
部員計52人が、試合や練
習で交流した。

修善寺体育館では、午
前11時半から午後4時ご
ろまで、植田東中と地元
中学3校が対戦を続け



気合の入った交流試合を展開する植田東中と
長岡中の選手たち＝伊豆市の修善寺体育館

た。部員たちは真剣勝負
で臨み、監督の厳しい声
が飛ぶ気合の入った好試
合が展開された。また、
植田小は、修善寺小体育
館で、地元の小学校2校
と試合を行った。
遠上会長は「被災地で
は、グラウンドが被害に
遭い、十分な練習ができ
ないと聞いている。今日
は思いっきり試合を楽し
んでもらいたい」と話し
た。この日、いわき市の
参加者たちは、伊豆市の
日本競輪学校やサイクル
スボールセンター、温泉
施設「百笑の湯」でも過
ごし、心と体を癒やした。
4日に帰省する。